

委員会としての判断「示さない」

判明した事実や委員個々の意見は報告

アンケート調査を実施したとして政務活動費で切手を大量購入した市川市議会の小泉文人市議と鈴木啓一元市議について調査する特

別委員会(百条委員会)

は17日、同委員会が調査終了後に議会に報告する内容は調査で判明した事実や委員個々の意見にとどめ、委員会

つたが、松井努委員長

が「ジャッジするようなどはしたくない」などと、委員会としての結論は出さないよう強く求め、賛成多数で決まった。議会として

ケート用紙を印刷した

とされる会社や小泉氏からの資料の提出状況についても報告があった。印刷会社には昨年

た上での資料提出などを求めているが、同社は応じなかった。小泉氏からは、印刷会社が発行したアンケート用紙の見積書と納品書、請求書、領収書の原本

や写しが現存しない理由について「廃棄済みのため」との回答があった。

結論は示さないことを決めた。調査は現在も継続中。委員からは、委員会としての結論を出すことを求める声もある

またこの日は、アン

を求めたが、顧客のプ

営業上の秘密が害されるなどとして提出されなかつたため、今回は該当する箇所以外を黒塗りしての資料提出や、秘密保持に関する誓約書を議会が提出した上での資料提出などを求めているが、同社は応じなかった。小泉氏からは、印刷会社が発行したアンケート用紙の見積書と納品書、請求書、領収書の原本や写しが現存しない理由について「廃棄済みのため」との回答があった。